

長野県障がい者スポーツ推進プロジェクト (令和4年度スポーツ庁委託事業概略資料)



パラスポーツの新しい波を起こそう！

〔ロゴに込めた願い〕

コンセプトは、「ユニバーサルデザイン的一步先」

点字のPWNをモチーフにしたロゴデザインで、信州の空と木々の美しい
信州・ながのを彩りと、長野から生まれる新しい波をイメージしています。

1 地域が有する課題

現状

- ・スポーツを実施する障がい者数が減少傾向
- ・パラスポーツに対する地域間の温度差が大きい
- ・障がい者スポーツ指導員の活躍できる場が少ない
- ・障がい者スポーツ競技団体の指導員・審判員不足

課題

2028年に本県で全国障害者スポーツ大会「信州やまなみ全障スポ」が開催されるが、障がい者が、身近な地域でスポーツを楽しむ環境が整っていない。

2 事業の推進体制

障がい者スポーツを支援するための関係団体等により構成される「パラウェーブNAGANO実行委員会」を組織し、推進母体として事業を実施。（事務局は県障がい者支援課）

〔構成団体〕

長野県健康福祉部、長野県レクリエーション協会、障がい者スポーツ地域コーディネーター、長野県公民館運営協議会、長野県スポーツ協会、信州大学、長野県社会福祉協議会、長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、長野県障がい者福祉センター、日本財団パラスポーツサポートセンター、長野県教育委員会スポーツ課、長野県障がい者スポーツ協会、長野県障がい者スポーツ指導者協議会、長野県スポーツ推進委員協議会

3 事業内容

障がい者スポーツを支える人材の養成と、障がい者がスポーツに取り組むきっかけづくりのために以下の取組を行う。

【主な取組】

- ①総合型地域スポーツクラブを活用した障がい者スポーツ拠点づくり事業の実施
- ②ボッチャ審判員養成講習会の開催

【関連する取組】

- ①パラウェーブ広場の開催
- ②学校を対象とした教育プロジェクト「パラ学」の実施
- ③ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ2022」の開催

4 事業内容～主な取組～

(1) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり

趣旨等

総合型地域スポーツクラブを活用し、障がいの有無にかかわらず、誰もが身近な場所でスポーツを楽しめる環境づくりを進めるため、①総合型地域スポーツクラブと地域の障がい者福祉施設等が連携したスポーツ・レクリエーションの体験会等を開催するとともに、②地域におけるスポーツ・障がい福祉関係者（行政、関係団体、有識者等）から構成されるネットワークを構築する。

事業内容

- ① 総合型地域スポーツクラブと地域の障がい者福祉施設等が連携したスポーツ・レクリエーション体験会等の開催

【期待される効果】

(クラブ側)

- 障がい者への対応力が向上する
⇒ ユニバーサルなクラブづくりに寄与（クラブの魅力UP）
- 障がい者とのつながりが生まれる
⇒ 将来的な会員確保に寄与

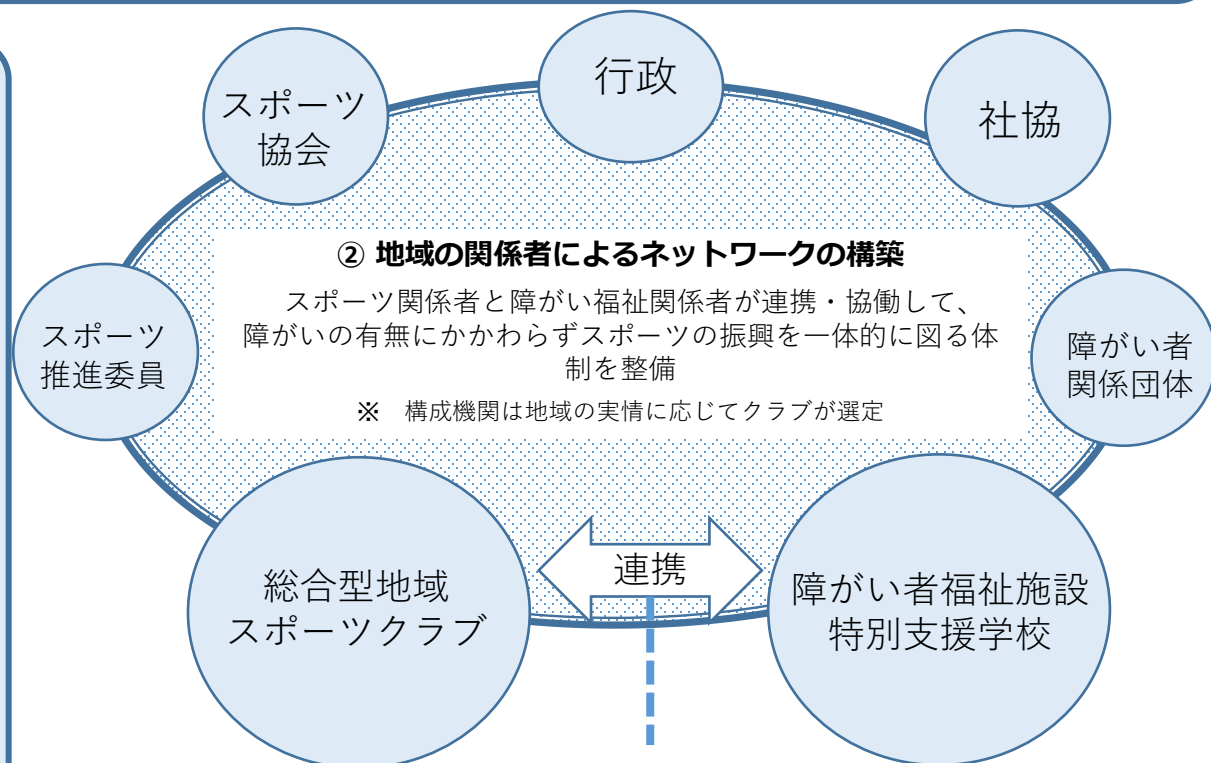
(施設側)

- 利用者の体を動かす機会が増える
⇒ 「運動してほしい」と希望する家族の声に対応可

- ② 地域におけるスポーツ・障がい福祉関係者（行政、関係団体、有識者等）から構成されるネットワークの構築

【期待される効果】

- 地域のスポーツ・障がい福祉関係者が、一体となって障がい者スポーツの振興に継続的に取り組むことが可能となる。



① スポーツ・レクリエーション体験会等の開催

施設利用者がクラブの活動拠点に行って体験会に参加する、又はクラブスタッフが施設を訪問して体験会を開催

例) ダンス教室、ボッチャ体験、陸上教室 など

4 事業内容～主な取組～

(1) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり(実施内容)

千曲アプリコットスポーツクラブ(千曲市)※3年目

連携団体 稲荷山福社会

実施内容

種目 ボッチャ、風船バレー、バトミントン、卓球など

時期 令和4年7月～11月にかけて8回開催

NPO総合体操クラブWing(松本市)※3年目

連携団体 日本ダウン症協会長野県支部松本ひまわりの会、
松本大学、長野県立寿台養護学校、音色クラブ

実施内容 トランポリン体験、親子体操、ボッチャ

時期 令和4年7月～令和5年2月にかけて10回開催

木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ(木曽郡上松町) ※2年目

連携団体 長野県立木曽養護学校

実施内容

種目 水上スポーツサップ体験、フィンスイム体験

時期 令和4年7月～9月にかけて3回実施

ながの北部スポーツクラブ(長野市)※新

連携団体 長野県障がい者福祉センター、
甲信越車いすテニス協会
長野県立長野ろう学校

実施内容

種目 テニス体験会

時期 令和4年8月～12月にかけて8回開催

伊那市総合型スポーツクラブ(伊那市) ※2年目

連携団体 長野県立伊那養護学校

実施内容

種目等 陸上、総合運動学習プログラム

時期 令和4年10月及び令和5年2月に2回開催

たかぎスポーツクラブ(下伊那郡喬木村)※2年目

連携団体 長野県立飯田養護学校、サンスポート駒ヶ根

実施内容 陸上(トラック及びフィールド)

時期 令和5年2月に1回開催

【成果】

- 今年度1クラブが新たに本事業を利用して障がい者へのスポーツ体験会を取り入れた(ながの北部スポーツクラブ)
- スタッフの障がい者スポーツに対する知識の蓄積により、柔軟に工夫ができるようになった
- 新たな競技を取り入れたクラブもあった

【課題】

- 自立するには、まだ参加費だけでは賅えない(助成が必要)
- 種目によって参加者にばらつきがある(ボッチャは人気だが、陸上等の競技性が高い種目が不人気)
- 地域全体に広めたいが、会場までの利用者の交通手段に困る
- たくさんの方に参加いただきたいが、その配慮も必要な為、スタッフ配置や参加料の設定に悩む

4 事業内容～主な取組～

(2) ボッチャ審判員養成講習会の開催

県内でのボッチャの基盤強化とボッチャを通じた共生社会づくりの一環として、審判ができる人材を一人でも多く養成することを目的として審判員の養成講習会を開催

内 容

審判経験が無いまたは少ない方向けに、レクリエーションレベルで行われる試合の審判を務められる知識・技術の習得を目指して、簡単な試合の流れや審判としての動き等の講習を実施。

講 師：長野県ボッチャ協会 3名

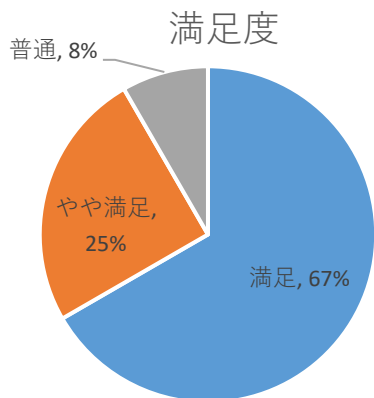
開催日時：令和4年10月10日（月・祝）13時30分～16時

場 所：松本市臨空工業団地体育館

参加者数：33人（うち28人が初参加）



アンケート結果



Q 参加したきっかけは何ですか。	回答数
・今後、所属組織等でボッチャ大会や講習会を開催する予定（計画）があるため	7
・個人的にボッチャに興味があったため	5
・今後、ボッチャ大会の審判員等をする意欲（予定）があるため	3
【その他のきっかけ】	
・担当業務でボッチャセットの貸出等を行っており、推進していくために必要であると考えたため。	
・自分自身も障がい者なので、何かお役立てできればと思い参加した。	
・高齢者の健康教室を担当しているので、教室内でボッチャをレクリエーションとして楽しみたいため。	
その他、意見等	
・今後、スキルアップの機会、例えばステップアップ講習会などを企画、紹介していただけるとありがたい。	
・さらにボッチャを普及してもらおうと私たちも活躍の場所も増えて、審判をやりたい人が増えると思う。	
・班を多くするか時間を伸ばして、もう少し審判する時間を多くしてほしい。	

- ・効果を高めるために、受講者の更なるスキルアップの場や、活躍の場を提供していきたい。
- ・本講習会を継続して実施し、審判・指導ができる人材を養成することで、身近な地域でのボッチャの普及につなげていきたい。

【成果】

ボッチャ審判員養成講習会を受講した方のうち約10名が、別に実行委員会が主催するボッチャ競技大会「パラウェーブ NAGANOカップ2022」での審判員として大会を支えてくれた。

5 事業内容～関連する取組～

(1) パラウェーブ広場

大型商業施設内や、他イベントに合わせて一般の方向けにボッチャ体験やパラスポーツ競技用具等の展示を行い、パラスポーツについて知ってもらうための体験型普及啓発イベントを実施

第1回目 (inイオンモール松本店)

日時 令和4年7月3日(日)

場所 イオンモール松本店

内容 ボッチャ体験、各種展示
ビームライフル体験

来場人数 500人



第2回目 (in24h TV)

日時 令和4年8月27日(土)
～28日(日)

場所 若里公園(長野市)

内容 ボッチャ体験、各種展示
ブラインド体験

来場人数 522人



(2) パラ学

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンターと協働で展開する、座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことを目的とした教育プロジェクト。令和3年度からスタート。

【座学「I'mPOSSIBLE」による授業】

パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちと与える教材「I'mPOSSIBLE」を用いて、担当教諭が授業を実施。



【体験型授業「車いすボールチャレンジ」】

長野県出身のパラリンピアンが講師を務める車いすバスケットボール専用車いすを利用した、長野県独自のパラスポーツの体験型授業。



(3) ボッチャ競技大会パラウェーブNAGANOカップ2022

性別や年齢、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが一緒にボッチャを楽しむことで、地域での交流の輪が広がり、ともに支え合い、誰にでも居場所と出番がある共生社会づくりを進めることを目的とし、県内在住の小学生以上を対象にボッチャ競技大会を開催。

大会名	日程	会場	チーム数	参加人数 (うち障がい者の人数)
北信大会	令和4年11月19日(土)	須坂市市民体育館	12チーム	62人(20人)
中信大会	令和4年11月23日(水・祝)	松本市総合体育館	23チーム	99人(26人)
南信大会	令和4年12月10日(土)	茅野市運動公園総合体育館	16チーム	73人(15人)
東信大会	令和4年12月17日(土)	軽井沢風越公園総合体育館	40チーム	178人(41人)
県大会	令和5年1月28日(土)	長野県立武道館(佐久市)	27チーム	113人(15人)